

報告事項キ

企画展「モダンアート再訪」の開催について

企画展「モダンアート再訪ーダリ、ウォーホルから草間彌生まで 福岡市美術館コレクション展」の開催について、別紙のとおり報告します。

平成30年1月25日

鳥取県教育委員会教育長 山 本 仁 志

モダンアート再訪—ダリ、ウォーホルから草間彌生まで 福岡市美術館コレクション展

開催要項

1 趣 旨

20世紀の美術は様々な美術運動の消長の歴史としてとらえることができる。エコール・ド・パリ、シュルレアリスムから一連の抽象絵画にいたるまで、主にヨーロッパで花開いたこれらの美術は広い意味でモダンアートと呼ばれ、豊かな成果を生み出した。そして第二次大戦後、その舞台はヨーロッパからアメリカに移る。巨大な抽象絵画や大量に消費される品物やイメージを用いたポップ・アート、アメリカにおいて初めて可能な表現はモダンアートの地平をさらに広げた。

一方で日本の作家によってもこれらに対応する多くの作品が制作された。パリで一世を風靡した藤田嗣治からグラフィックデザイナーとしても知られる横尾忠則まで、時にヨーロッパやアメリカで直接の影響を受け、時に独自の表現を深める中で、欧米の動向と関連をもつ一連の表現が生まれた。本来異なった文脈に育まれたこれらの作品が、たとえば人体の表現、絵画の物質性、あるいはイメージの再生といった点で多くの共通点をもつことはモダンアートの可能性を再考するにあたって興味深い視点を提起する。

21世紀に入り、20世紀の美術を再考すべき時機を迎えた現在、近現代美術の優品を所蔵する福岡市美術館のコレクションの中から選りすぐりの作品76点を紹介する展覧会を開催する。本展を通じて、モダンアートという営みを再確認し、その成果を検証することを試みる。

2 会 期 平成30年2月3日(土)～3月18日(日) 【全43日間・休館日：2月26日(月)】

3 会 場 鳥取県立博物館 第1・第2特別展示室

4 主 催 鳥取県立博物館、読売新聞社、美術館連絡協議会

5 協 賛 ライオン、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜、
日本通運(株)、(株)モリックスジャパン、(株)吉備総合電設、三和商事(株)

6 特別協力 福岡市美術館

7 観覧料 一般 800円(前売600円)

8 出展作品 レオナルド・フジタ《仰臥裸婦》、三岸好太郎《海と射光》、ジョアン・ミロ《ゴシック聖堂でオルガン演奏を聴いている踊り子》、サルバドール・ダリ《ポルト・リガトの聖母》、アンディ・ウォーホル《エルヴィス》を含む全76点

9 関連事業

・特別講演会Ⅰ「福岡から再訪するモダンアート」講師：山口洋三(福岡市美術館学芸員)

2月3日(土) 14:00-15:30、会場：2階講堂、定員：250名(申込不要・無料)

・トークセッション「自作を語る」

講師：柳幸典(アーティスト)、聞き手：尾崎信一郎(鳥取県立博物館副館長)

2月10日(土) 14:00-15:30、会場：2階講堂、定員：250名(申込不要・無料)

・アートセミナー「モダンアートとその外部」講師：尾崎信一郎(鳥取県立博物館副館長)

2月24日(土) 14:00-15:30、会場：2階講堂 定員：250名(申込不要・無料)

・アートセミナー「社会とアートと近代(モダン)について」

講師：赤井あずみ(鳥取県立博物館主任学芸員)

3月3日(土) 14:00-15:30 | 2階大会議室 | 30名(申込不要・無料)

・特別講演会Ⅱ「描かれた身体：自分のからだ、他者のからだ」

講師：田中正之(武蔵野美術大学教授)

3月10日(土) 14:00-15:30、会場：2階講堂、定員：250名(申込不要・無料)

・ギャラリートーク

2月17日(土)、3月17日(土) 14:00-15:00

会場：本展展示会場、定員：なし(要観覧料)

10 その他(巡回先)

埼玉県立近代美術館 平成30年4月7日(土)～5月20日(日)

広島市現代美術館 平成30年6月2日(土)～8月26日(日)

横須賀美術館 平成30年9月15日(土)～11月4日(日)

Modern Art Revisited:

from the Collection of Fukuoka Art Museum



モダンアート再訪

—ダリ、ウォーホルから草間彌生まで
福岡市美術館コレクション展

2018.2.3^{SAT} — 3.18^{SUN} | 休館日 2.26^{MON} |

開館時間：午前9時～午後5時（入館は閉館の30分前まで）

観覧料：一般800円（前売り・20名以上の団体料金＝600円）

※次の方々は無料です。○大学生以下 ○学校教育活動での引率者 ○障がいのある方、難病患者の方、要介護者及びその介護者 ○70歳以上の方

会場：鳥取県立博物館2階 第1・第2特別展示室

主催：鳥取県立博物館、読売新聞社、美術館連絡協議会

協賛：ライオン、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜、◎日本通運、株式会社モリックスジャパン、株式会社吉備総合電設、◎三和商事株式会社

特別協力：福岡市美術館

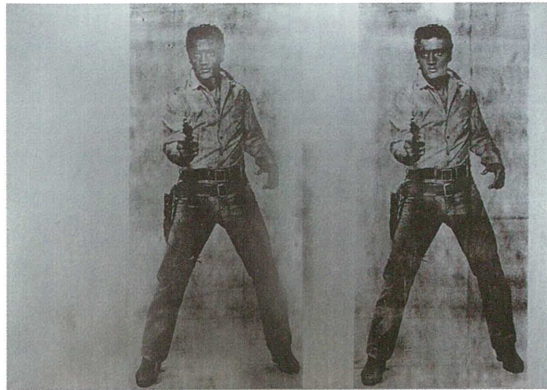
ジョアン・ミロ《ゴシック聖堂でオルガン演奏を聞いている踊り子》1945 福岡市美術館蔵 ©Successio Miro-Adagp, Paris & JASPAR, Tokyo, 2017 G1164



鳥取県立博物館
TOTTORI PREFECTURAL MUSEUM

モダンアート再訪

—ダリ、ウォーホルから草間彌生まで
福岡市美術館コレクション展
2018.2.3^{SAT} - 3.18^{SUN}



アンディ・ウォーホル《エルヴィス》1963
© 2017 The Andy Warhol Foundation for the Visual Arts, Inc. / ARS, New York & JASPAR, Tokyo, 2017 G1164

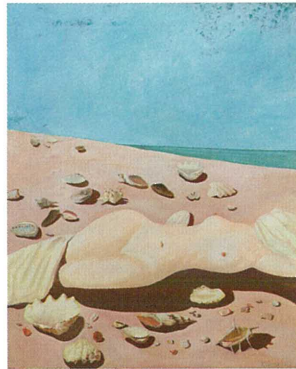


田中敦子《作品1》1959-60
© Kanayama Akira and Tanaka Atsuko Association



草間彌生《鳥一》1985
© YAYOI KUSAMA

20世紀美術は様々な美術運動の消長の歴史ととらえることができます。印象派に始まり、エコール・ド・パリ、シュルレアリスムから一連の抽象画にいたる流れは主にヨーロッパで生まれ、広い意味でモダンアートと呼ばれています。そして第二次大戦後、モダンアートの舞台はヨーロッパからアメリカに移り、巨大な抽象絵画やポップアートといった新たな成果を生み出しました。日本でもこれらの動向に呼応する作品が制作される一方、明らかにそこから逸脱する作品も生み出されました。明治以降、日本において欧米の美術がいかに受容され、いかなる変容を遂げたかという問題は日本の近代美術史を論じるにあたって興味深い主題です。1979年に開館した福岡市美術館は近現代美術と古美術を二つの柱とする16,000点に及ぶコレクションによって知られています。2019年のリニューアルオープンに向けて、美術館が大規模な改修工事に入ったことを得難い機会として、この展覧会では福岡市美術館が所蔵する近現代美術のコレクションによって、モダンアートの歴史をあらためてたどりたいと考えます。ダリやウォーホルから草間彌生まで、ヨーロッパとアメリカ、そして日本のモダンアートを代表する優品70点あまりの魅力をお楽しみ下さい。



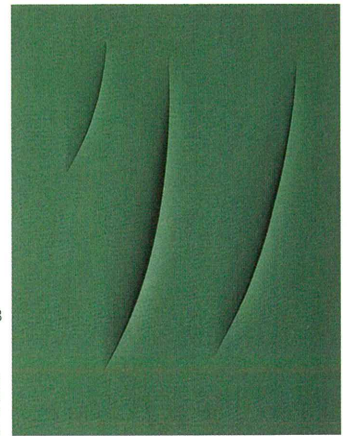
代美術と古美術を二つの柱とする16,000点に及ぶコレクションによって知られています。2019年のリニューアルオープンに向けて、美術館が大規模な改修工事に入ったことを得難い機会として、この展覧会では福岡市美術館が所蔵する近現代美術のコレクションによって、モダンアートの歴史をあらためてたどりたいと考えます。ダリやウォーホルから草間彌生まで、ヨーロッパとアメリカ、そして日本のモダンアートを代表する優品70点あまりの魅力をお楽しみ下さい。

三岸好太郎《海と射光》1934



フランク・ステラ《バスマン1 (分度器シリーズ)》1968
© Frank Stella / ARS, New York / JASPAR, Tokyo, 2017 G1164

ルチオ・フォンタナ《空間概念 期待》1962
Spatial Concept, Expectations, 1962
© Lucio Fontana by SIAE 2017
(作品はすべて福岡市美術館蔵)



EVENT

特別講演会 I 「福岡から再訪するモダンアート」

日時 2月3日(土) 14:00-15:30 会場 2階講堂 定員 250名 料金 無料
講師 山口洋三(福岡市美術館学芸係長)

トークセッション「自作を語る」

日時 2月10日(土) 14:00-15:30 会場 2階講堂 定員 250名 料金 無料
講師 柳幸典(アーティスト) 聞き手 尾崎信一郎(鳥取県立博物館副館長)

担当学芸員によるギャラリートーク

日時 2月17日(土)・3月17日(土) 13:00-14:00 会場 第1・第2特別展示室
料金 要観覧料

アートセミナー「モダンアートとその外部」

日時 2月24日(土) 14:00-15:30 会場 2階講堂 定員 250名 料金 無料
講師 尾崎信一郎(鳥取県立博物館副館長)

アートセミナー「社会とアートと近代(モダン)について」

日時 3月3日(土) 14:00-15:30 会場 2階会議室 定員 30名 料金 無料
講師 赤井あずみ(鳥取県立博物館主任学芸員)

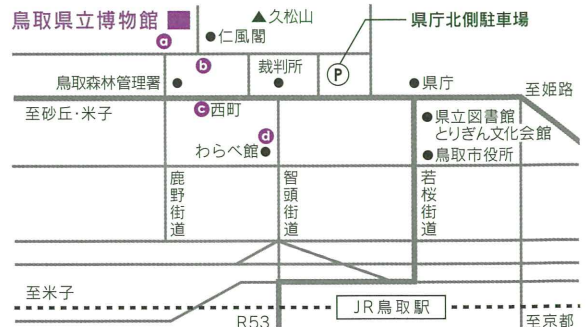
特別講演会 II 「描かれた身体:自分のからだ、他者のからだ」

日時 3月10日(土) 14:00-15:30 会場 2階講堂 定員 250名 料金 無料
講師 田中正之(武蔵野美術大学教授)

【いっしょにみてみて、もくようび】
展示室に小さなお子様と一緒に過ごしていただき、気兼ねなく作品鑑賞をしていただくための時間として、会期中の毎週木曜日の午前中を「子どもと一緒にの鑑賞優先時間」としています。ベビーカーを押して、ぜひお越しください。

ACCESS

- ◎JR鳥取駅からバスで
- 100円バス「くる梨」(緑コース)で「①仁風閣・県立博物館前」下車すぐ
- ループ麒麟獅子Aコース(土・日・祝のみ)で「③鳥取城跡」下車すぐ
- 砂丘、湖山、賀露方面行「西町」下車約400m
- 市内回り岩倉・中原方面行「わらべ館前」下車、約600m
- ◎JR鳥取駅からタクシーで…約10分
- ◎鳥取空港から…鳥取駅行連絡バスで「西町」下車、約400m
- ◎お車で…鳥取自動車道・鳥取ICより約15分
- ※当館駐車場21台駐車可能(なるべく公共交通機関をご利用ください)



引越しは日通
0120-154022

お客様の満足のその先へ…
MORRIX
株式会社モリックスジャパン
TEL 0857-23-3641
本社 鳥取市商栄町203-6
倉吉店 倉吉市下田中町870 中瀬ビル3F
http://www.morrix.co.jp/

beyond 2020

とっとり県民カレッジ連携講座

鳥取県立博物館
TOTTORI PREFECTURAL MUSEUM
〒680-0011 鳥取県鳥取市東町2丁目124 TEL.0857-26-8042 FAX.0857-26-8041
http://www.pref.tottori.lg.jp/museum/ E-mail:hakubutsukan@pref.tottori.lg.jp